

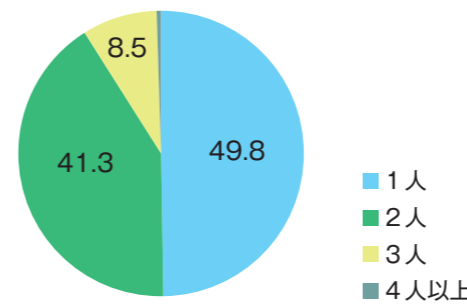
子ども・子育て支援に関するニーズ調査結果概要

町では、平成27年度から始まる「子ども・子育て支援事業計画」を策定するにあたり、昨年11月15日から29日までの間、小学校6年生までの児童を持つ保護者を対象に子ども・子育て支援に関するニーズ調査を実施し、391世帯中201世帯（回答率51%）から回答をいただきました。

調査結果の一部をご紹介します。

家庭の状況

世帯の子どもの数(小学校6年生以下) [%]

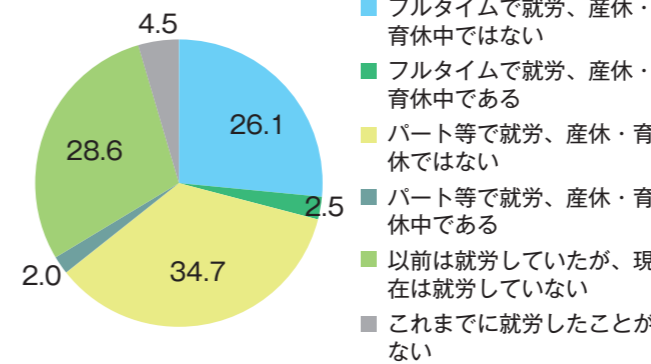


世帯の小学校6年生以下の子どもの数は「1人」が49.8%、「2人」が41.3%、「3人」が8.5%となっています。

就労の状況

母親の就労は、「パートで就労・産休・育休ではない」が34.7%で最も多く、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が28.6%、「フルタイムで就労・産休・育休ではない」が26.1%で続いています。

母親の就労状況 [%]

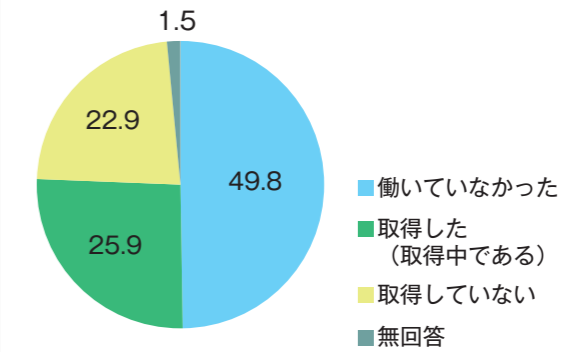


育児休暇の取得状況

母親の出産時に「働いていなかった」が49.8%で最も多く、次いで

「取得した(取得中である)」が25.9%、「取得していない」が22.9%となっている。

母親/育児休業制度の取得 [%]



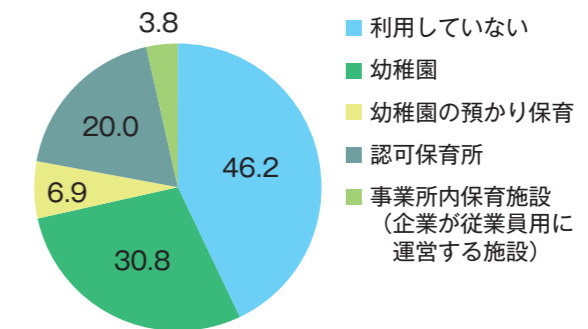
定期的な教育・保育サービスの利用状況

定期的な教育・保育サービスでは、「利用していない」が46.2%で最も多く、次いで「幼稚園」が30.8%、「保育所」が20.0%、「事業所内保育施設」が6.9%となっています。

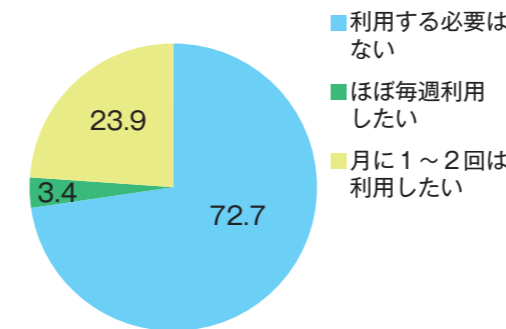
教育・保育サービスの日曜・祝日の希望状況

教育・保育サービスの日曜、祝

定期的な教育・保育サービスの利用 [%・複数回答]



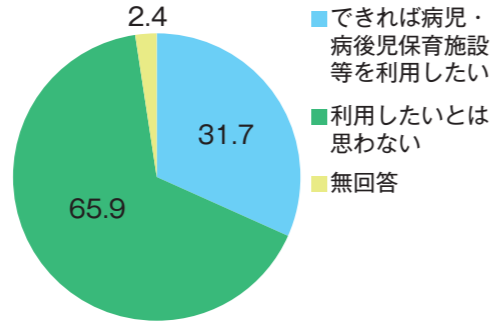
日曜日・祝日の利用意向 [%]



病児・病後児保育の希望状況

父母が休んだ場合の、病児・病後児保育の希望では、「利用したいと思わない」が65.9%、次いで「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が31.7%となっています。

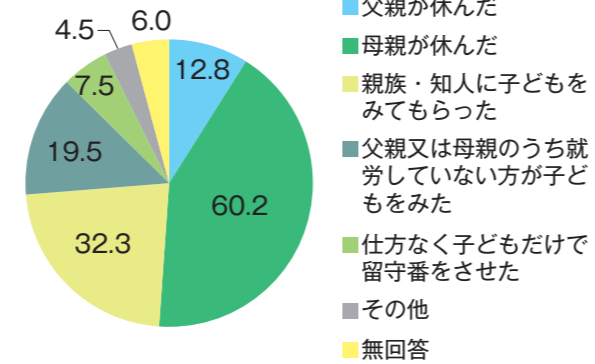
父母が休んだ方/病児・病後児保育等の利用希望 [%]



病児・病後児の対処方法

病児・病後児の対処としては、「母親が休んだ」が60.2%で最も多く、次いで「親類・知人に子どもをみてもらった」が32.3%、「父親、母親のうち就労していない方がみ

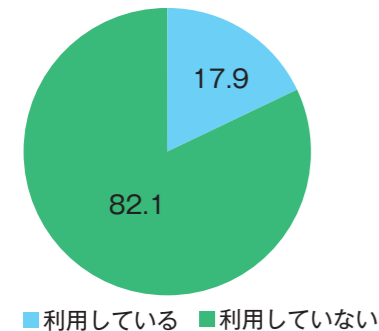
休んだことがあった方/対処法 [%・複数回答]



放課後児童クラブの利用状況

放課後児童クラブの利用では、「利用していない」が82.1%、「利用している」が17.9%となっています。

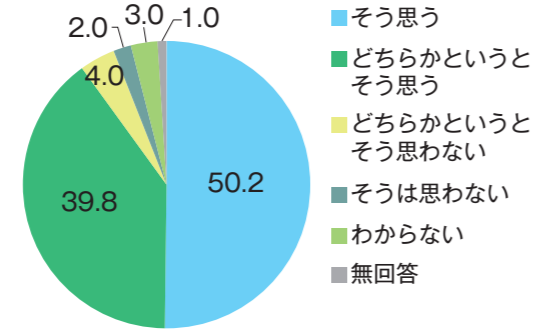
放課後児童クラブの利用状況 [%]



子育てしやすいまちへの意識状況

本町は「子育てしやすいまちだと思う」と答えた方は、50.2%、「どちらかというと思う」が39.8%、「どちらかというと思わない」が1.0%、「そうは思わない」が2.0%、「わからない」が4.0%、「無回答」が3.0%となっている。

子育てしやすいまちだと思う [%]



子育てしやすいまちになるために重要な支援

子育てしやすいまちになる重要な支援は、「子育てへの経済的支援の充実」が46.3%で最も多く、次いで「小児医療体制の充実(乳幼

児医療の無料化など)が41.8%、「小中学生の心身の健やかな成長への支援」が38.3%、「子育てしながら働きやすい職場環境の整備」が33.3%、「子育てに関する相談や情報提供の充実」が26.9%、「乳幼児の遊び場の整備」が25.4%、「保育所・幼稚園の充実」が14.9%、「親同士の交流や地域の子育て支援活動への支援」が9.5%、「家庭内における子育てへの参画の促進」が4.5%、「特に必要なものはない」が2.0%、「児童虐待対策の推進」が1.5%、「その他」が5.0%、「無回答」が1.5%となっている。

